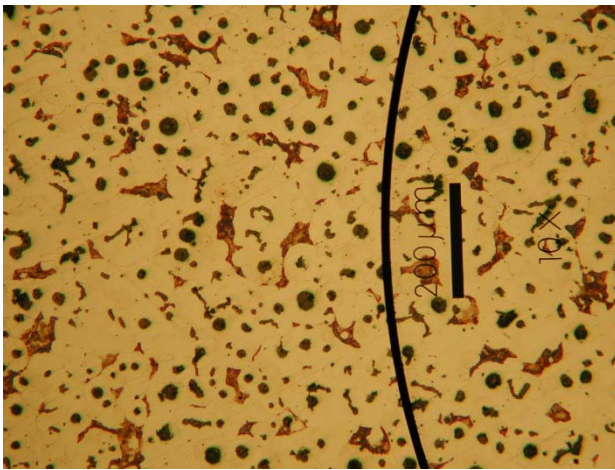


逆チル

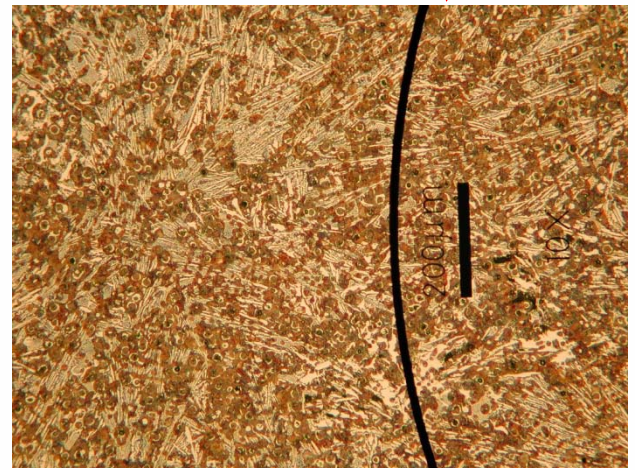
小物・薄物の製品では冷却速度が速まり、下記条件が要因となり逆チルが発生することがあります。

V,Mo,Cr,Te,Co,Mg,等逆チル憎悪元素が多い。
RE/Sのバランスが悪い。
接種が効いていない。
残留Mg値が高すぎる。

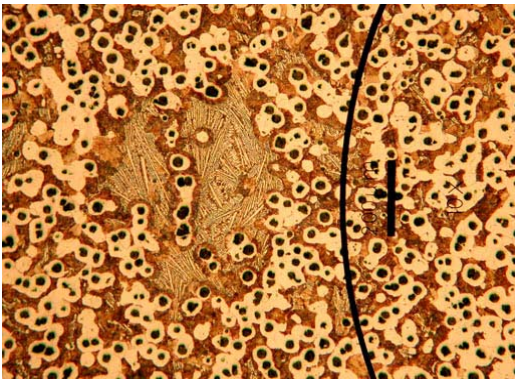
ケース1 逆チルの発生した鑄物



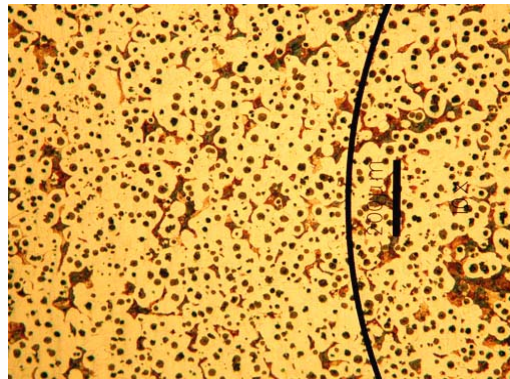
対物10倍×(スケール200µm)



対物10倍×(スケール200µm)



最終凝固部に発生した逆チル



2次接種に「ビスマルク」を使用し、逆チルが解消した

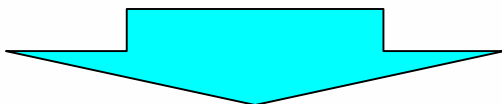
ケース2 逆チルの発生した鑄物



肉厚6mm

逆チルを防止するためのニューアロイからのご提案

- ・逆チル防止型球状化剤(当社製品「New-CR3LRB、4LBK」等)を使用する。
- ・強力なフェライト化能力を持つ接種剤(当社製品「ビスマルク」等)を選択する。
- ・スクラップから混入する白銑化元素を少なくする。
- ・元湯S値が低すぎる場合は0.013～0.015%程度に高める。



ニューアロイ(株)にご相談下さい!



ES - 144

ニューアロイ株式会社

〒441-0153 愛知県豊橋市新西浜町1番地

TEL 0532-34-2088(代) FAX 0532-34-2089

mail: newalloy@mva.biglobe.ne.jp URL: http://www.new-alloy.net/